

～持続可能な地域活動とチーム作り～

地域ケアを含む地域課題を、 より身近に自分ごと化するには？

一般社団法人 横浜イノベーション推進機構

本日の流れ

- ✓ イノスイとは？
- ✓ なぜ今「地域のつながり」が必要か
- ✓ 「ごちゃまぜ」で地域を変える
- ✓ 持続可能なチームを作るヒント



「家族の時代」から「個・孤の時代」へ

—— すべての世代に孤立の危機が迫っている

かつて日本社会では、家族が「すぐに駆けつける」「意思決定を支援する」「病気・介護に対応する」といった役割を担ってきました。しかし21世紀以降、急速な少子高齢化・単身世帯の増加・共働き化によって、その機能が急速に弱体化しています。

子ども・若者	不登校、ひきこもり、貧困、育児放棄
現役世代	ダブルケア、非正規雇用、シングルマザー
シニア世代	孤独死、認知症、身寄りなし問題



家族に代わる「地域での支え合い」と
「自立した個人の共生」が、今こそ必要。

横浜における活動：サーキュラーエコノミーPLUS

空き家活用

廃油回収ステーション
(市内各地、小学校等)

コミュニ
ティ

孤独
孤立

脱炭素

防災

外国人の受入れ拠点
(鶴見商店街)

孤独
孤立

外国人
キャリア

外国人
住まい

外国人
暮らし

共生
共創

厚労省モデル事業を
横浜市から受託
(すすき野団地)

高齢者
キャリア

見守り

介護
認知症

孤独
孤立

身より
なし

共生
共創

孤独死
対策

防災と地域コミュニティ
サーキュラーエコノミー

横浜で
暮らし働く
外国人

女性の健康と
暮らし

持続可能な
街づくりと
ウェルビーイング

単身高齢者
認知症

子ども
若者

障がい
を抱える人々

GREEN×EXPO 2027

女性の心と身体
の健康維持
への意識向上PJ

経済的自立
へ向けた
キャリア
形成支援PJ

女性
キャリア

孤独
孤立

フェム
テック

貧困

おひとり
様

子ども真ん中
視点での
キャリア形成
支援
(11/2未来の
実践会議)

孤独
孤立

若者
キャリア

アドボ
カシー

貧困

ゼブラ視点
での再活性化
(竹山団地×
神大サッカー
部)

孤独
孤立

若者
キャリア

高齢者
健康

スポーツ

共生
共創

共生社会の実現とその可視化

障がい
キャリア

孤独
孤立

貧困

共生
共創

アドボ
カシー

養蜂 (瀬谷区) / 横浜オリーブ (緑区) / 人材不足対策

'社会課題先進都市'から'社会課題解決先進都市'へ

横浜が目指すのは、地域経済を循環させる'持続可能な仕組み'の実装です。社会課題の発見だけでなく、その解決に向けた具体的な行動と成果を生み出す都市へと転換します。



代表理事



黒澤 史津乃

(株)OAGウェルビーR
代表取締役

<https://oag-br.com/>

理事



高濱 将之

(株)土屋
常務取締役 兼 VICE COO
※定期巡回サービス

<https://tcy.co.jp/>



井上 義設

(株)A.G.A
代表取締役
※外国人・子供人材

<https://aga.co.jp/>



藤木 幸大

藤木陸運(株)
常務取締役
※運送業

<http://www.fujiki-rikuun.com/>



落合 俊之

Evo Ventures(株) 代表取締役
※経営課題解決

<https://www.evoventures.jp/>



矢野 達郎

(株)アイ・ディ・エス
バナナ園グループ代表
※高齢者介護

<https://bananaen.com/>

アドバイザー



吉田 政弘

(株)Emi-Rot代表取締役
※訪問介護・デイサービス

<https://www.emi-rot.co.jp/>



松永 佐和子

(株)Lucor代表取締役
※ライフコンサルティング
ビジネスコンサルティング

<https://lucor.jp/>



松枝 勇治

(株)アイ・ディ・エス 事業推進部長
バナナ園グループ
※高齢者介護

<https://bananaen.com/>

監事



内田 裕子

経済ジャーナリス
ト
イノベディア代表

[INNOVEDIA\(イノベディア\)](https://www.innovedia.com/)

支援する側・される側の垣根を超えた「ごちゃませ」が 地域を変える

イノスイが最も大切にしているのは「ごちゃませマインド」です。
これは、これまでの固定的な役割分担を取り払い、多様な人々が「出番」を持って
地域課題の解決にコミットする考え方です。

「ごちゃませ」の7つの意味

- 世代のごちゃませ（子どもから高齢者まで）
- 支える側と支えられる側のごちゃませ
- 産・官・学・民の関係主体のごちゃませ
- ボランティアと就労のごちゃませ
- 営利と非営利のごちゃませ
- 教育と社会活動のごちゃませ
- 生活と仕事のごちゃませ



モザイク型ジョブマッチング

このマインドを体現する仕組みです。地域の課題を細かく分解（モザイク化）し、それぞれに最適な担い手とマッチングすることで、誰もが「出番」を持てる地域社会を実現します。

新しい建物は不要

—— 既存の地域拠点に「3つの機能」を付加する

イノスイが推進する「YOKOHAMAキャリア&ケア・デザイン拠点（YCCD）」は、新たな施設を建設するのではなく、地域にすでに存在する多世代交流拠点に機能を付加することで実装します。

ポイント：「終活」「就活」「修活」は三位一体で機能します。高齢者が若者に知恵を伝え、若者が高齢者に活力を与える循環が生まれます。

修（習）活

子ども・若者

地域課題への探究活動を通じたキャリア形成。学校の総合学習・探究学習とも連携し、実践的な学びの場を提供します。

就活

現役世代

すきま時間を活かした新しい働き方。障がいや困難を抱えていても参加できる、多様で柔軟な就労の場を創出します。

終活

シニア世代

終身サポート・意思決定支援。生涯現役で社会活動に参加し続けるための機会と環境を地域の中で提供します。

「思い」だけでは続かない

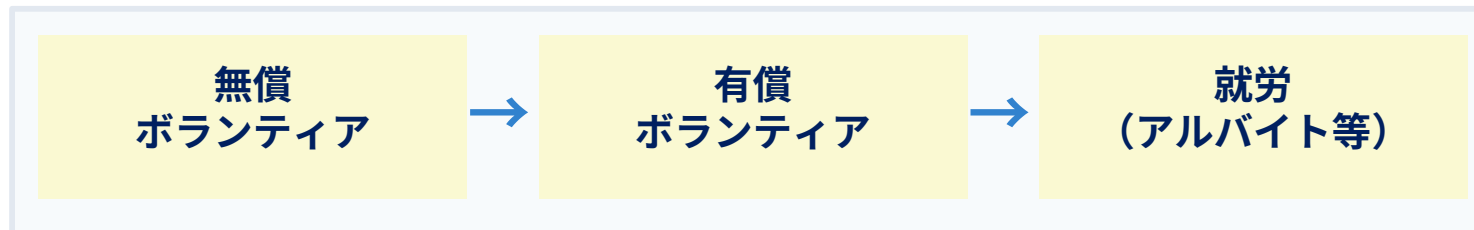
——地域課題解決と経済的持続可能性の両立

地域活動が「補助金が切れたら終わり」「担い手の燃え尽きで解散」という状況に陥らないために、イノスイは「ローカル・ゼブラ企業」という考え方を大切にしています。

ローカル・ゼブラ企業の特徴

- 事業成長を通じて、より良い社会をつくることを目的としている
- 時間・クリエイティブ・コミュニティなど多様な力を組み合わせる
- 長期的で包摂的な経営姿勢である
- ビジョンが共有され、行動と一貫している

イノスイが目指す「3層統合型人材プラットフォーム」



「やりがい」と「経済的報酬」をシームレスに繋ぐことで、担い手が無理なく活動を続けられる仕組みを構築します

一人で抱え込まない

産・官・学・民の「ごちゃまぜ連携」が活動を強くする

イノスイが横浜市内で実践している「多世代連携型プロジェクト」では、一つの団体が全てを担うのではなく、それぞれの得意分野を持つ多様なプレイヤーが連携しています。

1 地域課題の「モザイク化」(細分化)

大きな課題を小さなピースに分解することで、「自分にもできること」が見えてくる。

例：廃食油の回収、空き地の菜の花栽培、高齢者の孤食解消など。

2 担い手の「掘り起こし」

アクティブシニアの「出番」探し、現役世代の副業・パラレルキャリア、学生のキャリア教育など、潜在的な担い手を発掘する。

3 既存リソースの最大活用

新しいものを作るより、地域にすでにある拠点・団体・ネットワークを活かす。
YORIAIのような場がまさにその核となります。

「やりたい！」を形にし、持続可能なチームとして 育てるために ～ イノスイの経験から伝えたい3つのポイント ～

1 「ごちゃまぜ」を恐れない

異なる世代・立場・得意分野の人が混ざり合うことで、思いがけないイノベーションが生まれます。

2 「仕組み化」を意識する

活動を「誰かの熱意」だけに頼らず、誰でも参加・継続できる仕組みにすることで、持続可能性が生まれます。

3 「小さく始めて、つながって広げる」

完璧を目指さず、まず小さく動き、成功体験を積み重ねながら仲間を増やしていきましょう。



キャリア&ケアデザインで実現する サーキュラーエコノミーPlus

泉区
サーキュラー・イエロー・プロジェクト

地域における共創・協働
とマインドの促進



- 資源の循環の視点
廃食用油回収や菜の花・ヒマワリ育生による
油の活用や地域ブランド商品開発
- 休耕地活用の視点
都市型農業の活性化
- 農福学商連携の視点
食と農への関心・関与の高まり
障がい者や認知症高齢者等の生きがいと就労
教育機関における環境教育・キャリア教育
・地域共生循環圏教育
地域経済への寄与
- 地域の活力向上の視点
地域の一体感の醸成
観光資源としてブランド化

大学生による
プロモーション



サーキュラー・イエロー・プロジェクト

地域×学生×企業×行政

菜の花とひまわりで地域とともに成長する

花を育てることから、人と地域、そして未来がつながっていく。

使われなくなった土地に、花が咲き、
景観を彩り、まちに賑わいを生む。

その畑は、生きづらさを抱える人の学びと仕事の場にもなる。

育てた恵みは形を変え、新たな実りをもたらす。
小さな循環が地域の中で回り始める。

一石六鳥で実現する、
Grow Together City 100への第一歩。



川崎市 園芸家 深町貴子さんの取組み（一例）



まちなか向日葵しぼり隊
隊員募集中!

◆ヒマワリのタネから油をしぼるプロジェクト

ヒマワリを育てて
油をつくらう

まずはココに参加してね

- 1 生田緑地で種まき講座
- 2 お家で育てて種を採る
- 3 生田緑地で油を搾る

講座に参加すると
もちろん向日葵
ペンをプレゼント

【日時】5月10日、5月17日、6月7日すべて日曜日
①10:00~10:50 ②11:10~12:00 各回定員25名
定員に満たない場合は当日参加できます
搾油は11月22日(日)かわさき宙と緑の科学館で行います 申込はこちら↓

【場所】東口ビジターセンター2F
【講師】深町貴子氏(園芸家/川崎市在住)
【参加費】0才~小学生(必ず保護者同伴)1,000円
中学生以上(大人含む)1,500円

※詳細は申込フォームで確認ください
主催:まちなか向日葵しぼり隊/生田緑地共働事業体
/新緑会/社団法人・グリーン・フォーラム

お問合せ:044(933)2300/東口ビジターセンター
https://ws.forada.net/f9en/5463814152/
※中学生以下は保護者がお申込みください

向日葵油作りました!

しかも美味しい😊

向日葵油

まちなか向日葵しぼり隊は
個人庭、学校・公共花壇、
休耕地などで搾油用のヒマ
ワリを環境活動として市民
で栽培しています。花はミ
ツバチやチョウ、ハナアブ
などを引き寄せ、都市部や
郊外における送粉昆虫(ボ
リネーター)の住み環境を
助けることで、生態系のつ
ながりづくりに役立ってい
ます。収穫したタネは集め
て油をしぼり、その油を未
来のエネルギー研究に生か
しています。

本製品は川崎市のヒマワリ
畑で収穫したタネを使用し
ています。丁寧な圧搾製法
による一番搾りの油です。

熱に強い油なのでどんな料
理にも使えます。ナッツの
ような味や香りをぜひ生で
もお楽しみください。

説明が長くてごめん😓

対話をかさねる取組みの様子

- ・ 団地や地域拠点での多世代ワークショップ
- ・ 相談支援と交流活動が並行して行われる現場
- ・ 世代を超えた対話と協働の場が日常的に生まれている



ご清聴ありがとうございました

